

1. 内政

▼検事総長の傷害致死事件への関与の可能性

- ・5日、プラホドニク議会議長(民主党第一副党首)は、同事件への関与を改めて否定。
- ・6日、自由民主党は、検事総長の選出方法に関する法律改正案を議会に提出。

▼閣僚の交替

- ・7日、ティモフティ大統領は、フィラト首相の提案を受け、チョバス青年スポーツ相を解任する大統領令に署名。同日、フィラト首相は、後任に元プロボクサーのティク氏を任命する可能性に言及。

▼世論調査

[モルドバ社会調査センター等]

- ・議会選挙が実施された場合の政党支持率
共産党:31.8%、自由民主党:26.5%、自由党:14.8%、民主党:11.9%、態度未定:12.6%等
- ・選挙前に議論したいテーマ
汚職との闘い:38%、ロシアとの関係改善:16%、経済問題の解決:12%、欧州統合:11%
- ・EUと関税同盟どちらへの加盟を支持するか
EU:53%、関税同盟:47%
- ・政府は関心がないが国内で悪化している問題
低賃金:28%、雇用:22%、ガス価格:20%
- ・モルドバ国民の不安材料
子供の将来:27%、病気:18%、物価高:18%
- ・過去3年間で改善されたもの
なし:34%、道路:33%、街灯:9%、賃金の上昇:7%
- ・調査は1月10日から24日にかけて1,100名の成人を対象に実施。

2. 経済

▼金融・財政

- ・8日、フィラト首相は、欧州復興開発銀行(EBRD)及び欧州投資銀行(EIB)より、国家鉄道会社の改革及び道路の復旧のための融資2億ユーロを得る可能性がある旨言及し、このプロジェクトに関する交渉を始める用意がある旨発言。
- ・8日、世界銀行は、キシナウで、モルドバにおける教育改革の4,000万ユーロの追加融資に関する協定に署名。

3. 外交

▼ルブ議会議長のポルトガル・フランス訪問

- ・5日、ルブ議会議長は、訪問中のポルトガルにおいてエス

テーヴェス国会議長と会談。両議長は、相互訪問の活性化及び両国協力の発展の必要性等に関し協議。エスターヴェス議長は、モルドバの欧州統合路線を支持する旨発言。

- ・6日、ルブ議長は、フランスを訪問し、ベル上院議長との会談において両国議会間協力等に関し協議。ベル議長は、フランスは今後もモルドバの欧州統合路線を支持する旨表明。

- ・7日、ルブ議長は、ライス・フランス・モルドバ友好議員連盟会長と会談。

▼レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のリニア訪問

- ・8日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、リニアを訪問し、リンケビチュウス外相と会談。双方は、両国関係の深化及び2013年後半にEU議長国となるリニアの優先課題等に関し協議。レアンカ大臣は、モルドバ・EU連合協定に関し、11月の東方パートナーシップ首脳会合での署名へのリニアの支持を要請。

▼その他

- ・1～3日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ドイツを訪問し、ミュンヘン安全保障会議に出席。

4. 沿ドニエストル

▼次回「5+2」者交渉

- ・6日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、グバレフ沿ドニエストル問題担当ロシア大使と会談し、次回「5+2」者交渉の準備状況等に関し意見交換を実施。

- ・7日、デシツァ駐OSCEウクライナ大使は、ウクライナはキシナウとティラスポリ双方が沿ドニエストルの政治的地位に関する協議を開始するための信頼醸成を促進していく旨、及び、2013年は「5+2」者交渉を5～6回実施する予定である旨発言。

▼その他

- ・6日、シェフチューク「大統領」は、ガヴリロフ・ロシア下院財産委員会委員長を団長とするロシア代表团との会合に出席し、沿ドニエストルの法制度改善の問題等に関し協議。双方は、沿ドニエストルとロシアの法制度の調和に関する合同専門家部会を創設することで合意。同日、フィラト首相は、ロシア下院議員団のティラスポリ訪問はモルドバ政府との調整が行われていなかった旨非難。これに対し、7日、ムハメトシ駐モルドバ・ロシア大使は、会合は民間団体の主催によるものであったためモルドバ政府への通達を行わなかった旨説明。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)